

～「うみ」「まち」「さと」「やま」が豊かな地域を水災害から守る圏域が一体となった流域治水の推進～

- 令和元年東日本台風では、全国各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、福岡県の京築・行橋・田川圏域においても事前防災対策を進める。
- 本圏域は、山地が海岸付近に迫り、限られた平地に人口・資産が集中しているうえ、河川がいくつも並行し流れている。洪水氾濫が発生すると甚大な被害が生じる本圏域の特性を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域治水の取り組みを推進し、浸水被害の軽減を図る。
- 自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの考えを取り入れ、災害リスクの低減に寄与する生態系の機能を積極的に保全又は再生することにより、生態系ネットワークの形成に貢献しつつ、流域治水に取り組む。

